

2020年6月16日

各位

会社名 株式会社JMDC
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 松島 陽介
(コード番号: 4483 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員副社長 兼 CFO 山元 雄太
(TEL. 03-5733-5010)

上場調達資金使途変更に関するお知らせ

当社は、2020年6月16日開催の取締役会において、2019年11月13日付「有価証券届出書」、2019年11月29日付及び2019年12月6日付「有価証券届出書の訂正届出書」における、2019年12月16日の新規上場にて調達した資金の使途を一部変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、当社グループの保有する医療関連データベースの拡充のために、「既存事業における顧客及びデータ量の拡大」に対して1,703百万円、「PeppUpのサービス対象の拡大」に対して560百万円、「保有データの増加対応に伴う次世代データ基盤構築」に対して1,485百万円の設備投資を予定しておりました。

当社は、その後の事業の進展及び技術開発により、「既存事業における顧客及びデータ量の拡大」「PeppUpのサービス対象の拡大」「保有データの増加対応に伴う次世代データ基盤構築」をより少ない投資金額で実現することができるものと判断いたしました。また、当社は、2020年2月28日付「ミーカンパニー株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、2020年2月28日にミーカンパニー株式会社の株式の取得を、また、2020年3月23日に株式会社flixyの株式の取得を行っております。これらの会社が有しているデータ基盤及び顧客との関係を活用することにより、当初予定していた設備投資とは異なる形ではありますが、当社グループの保有する医療関連データベースを拡充することができるものと考えております。

上記2社の株式取得を自己資金で充当したことから、資金使途を一部変更し、今後の成長のための運転資金へと充当することといたしました。

2. 変更の内容

資金使途の変更の内容は次のとおりです。変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

具体的な使途	金額 (百万円)	充当予定時期
既存事業における顧客及びデータ量の拡大に対応するための資金	<u>1,703</u>	2020年3月期～2022年3月期
P e p U p のサービス対象を拡大するための資金	<u>560</u>	2021年3月期～2022年3月期
保有データの増加対応に伴う次世代データ基盤構築のための資金	<u>1,485</u>	2021年3月期～2022年3月期
連結子会社である株式会社ドクターネットにおける、顧客及び取扱い画像数の拡大に効率的に対応するための基幹システムの改善及びサーバー容量の増加のための資金	<u>771</u>	2020年3月期～2022年3月期
連結子会社である株式会社ユニケソフトウェアリサーチにおける、クラウド型の新製品開発のための資金	<u>443</u>	2020年3月期～2022年3月期
ヘルスビッグデータ事業の事業基盤の獲得・拡大を目的とした人員の拡大に伴う人件費	489	2021年3月期
合計	5,451	

(変更後)

具体的な使途	金額 (百万円)	充当予定時期
既存事業における顧客及びデータ量の拡大に対応するための資金	<u>1,583</u>	2020年3月期～2022年3月期
P e p U p のサービス対象を拡大するための資金	<u>310</u>	2021年3月期～2022年3月期
保有データの増加対応に伴う次世代データ基盤構築のための資金	<u>310</u>	2021年3月期～2022年3月期
連結子会社である株式会社ドクターネットにおける、顧客及び取扱い画像数の拡大に効率的に対応するための基幹システムの改善及びサーバー容量の増加のための資金	<u>780</u>	2020年3月期～2022年3月期
連結子会社である株式会社ユニケソフトウェアリサーチにおける、クラウド型の新製品開発のための資金	<u>426</u>	2020年3月期～2022年3月期

ヘルスビッグデータ事業の事業基盤の獲得・拡大を目的とした人員の拡大に伴う人件費	489	2021年3月期
<u>今後の成長のための運転資金への充当</u>	<u>1,553</u>	<u>2021年3月期</u>
合計	5,451	

3. 今後の見通し

本件による当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上